

ホームルーム活動（人権）学習指導案

- 1 主 題 名 子どもの人権
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ね ら い
子どもの権利を学ぶことによって、児童虐待や体罰などの不適切な力の行使が暴力であることを自覚し、自他の命を大切にしようとする態度を育成する。
- 4 指 導 計 画
 - (1) これまでの学習
 - 第1回 自分の進路について人権の視点から考えよう（講演会）学年集会・・・ 1時間
 - 第2回 就職差別につながるとされる14項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
 - 第3回 高齢者の人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
 - (2) 本時の学習
 - 第4回 子どもの人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
 - (3) これからの学習
 - 第5回 結婚のあり方について考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 5 本 時
 - (1) 目 標
 - ①子どもの権利を理解し、子どもが守られるべき存在であることを認識させる。
 - ②将来、社会の一員として自分たちが、子どもを守る側になることについて考えさせる。
 - (2) 普遍的な学習のテーマ・・・・・・・・生命の尊厳
個人人権課題名・・・・・・・・子ども
 - (3) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	○本時の主題と目標について確認する。	○本時の主題の趣旨を説明する。 ○展開のために付箋、マーカー、模造紙を各グループに配付しておく。	
展開 (40分)	○「命」の定義について考える。 ○子どもと大人の違いは何かを考える。 ○ワークシート①「子どもならOK?大人ならOK?」をする。 ○子どもの権利条約について学ぶ。	○ワークシート①を用いて、自分の考えを自由に記入するよう指示する。 ○自分の意見を付箋に記入し、グループ内でスムーズに伝達できるよう、声かけをする。 ○子どもも大人も一人の人間として尊重されなければならないことを理解させる。 ○ワークシート②の中からグループで話し合うテーマを選び、意見交換をさせる。 ○「子どもの権利条約」を要約したプリント（ワークシート③）を配付し、その内容を簡単に説明する。 ○内容の確認終了後、児童虐待や体罰等、子どもの人権を侵害している現代社会の課題を改めて認識させる。	○自分なりに「命」について向き合い、自分の考えをまとめている。 （技能的側面） ○他人の意見を受け止め、自分の考えを伝えることができている。 （技能的側面） ○基本的人権は子どもも大人も同じであることを理解できている。 （知識的側面） ○子どもの権利条約の内容について、理解し、現代社会の課題を認識することができている。 （価値的・態度的側面）
まとめ (5分)	○本時のまとめ	○自分たちが、子どもを守る立場へと変化していくことを再確認するとともに、命の大切さについて考えられるようにする。	○自他の命を大切にしていこうとする意欲が高まっている。 （価値的・態度的側面）